

News Release

平成 19 年 12 月 18 日

溶剤サンプル採取装置からの溶剤の漏洩について

平成 19 年 12 月 18 日 11 時 55 分頃、当社北九州 PCB 廃棄物処理施設 3 F 溶剤蒸留塔のサンプル採取装置から溶剤が漏れているのが発見され、直ちに元弁を閉止し漏洩を止めました。漏洩した溶剤は PCB を分離した後のものであり、PCB の施設外への漏洩や作業員への影響はありません。

1. 溶剤蒸留塔は、処理物を洗浄した溶剤から PCB を分離する設備です。この設備にはサンプル採取装置が取り付けられていますが、平成 19 年 12 月 18 日 11 時 55 分頃、サンプルを採取するチューブから溶剤が滴り落ちているのを作業員が発見し、直ちに元弁を閉止し漏洩を止めました。漏洩した溶剤は約 5 リットルで、拭き取り回収しました。この溶剤は PCB を分離した後のものであり、PCB はほとんど含まれておりません。
2. この部屋の換気は活性炭を通して外部へ出しております。出口で測定した結果では PCB は検出されていません。また、施設内の空気中の PCB 濃度も異常ありません。
3. 事業所では、類似箇所も含め点検を行い引き続き安全を確保してまいります。

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社北九州事業所

所長 千葉 高生 (TEL 093 - 752 - 1113)

安全対策室長 入江 敦史 (同上)